

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 117 号	氏名	望月 響子
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 永安 武 副査 上平 憲		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 肝温虚血再灌流障害の機序解明の一環として、微小循環障害に大きく関与するエンドセリンの受容体の一つである ETB-R の役割を検討しようとした研究目的は明確で評価できる。</p>			
<p>2. 研究手段に関する評価 antagonist や agonist を用いず ETB-R 欠損ラット (spotting lethal rat) を用いたこと、肝温虚血再灌流実験の方法、生化学的検討項目の選択、免疫組織学的研究など研究手段の選択とその手技は妥当であった。</p>			
<p>3. 結果・考察の評価 実験の結果、ETB-R 欠損ラットは肝温虚血再灌流において類洞内皮細胞の障害が高度であった。肝組織内 ET-1 が高値を示し、ETB-R 欠損状態では ET-1 の除去ができず、類洞内皮細胞に障害を惹起したと考えられた。これらより ETB-R は肝温虚血再灌流における類洞内皮細胞障害に対して保護的に作用することが明らかとなった。本論文は肝移植の研究発展に大きく貢献するものであり高く評価できる。審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			